

2013年2月13日
株式会社日立製作所
株式会社博報堂

日立と博報堂、マーケティング領域における

ビッグデータ利活用事業での協業に合意

両社協働プロジェクトであるマーケット・インテリジェンス・ラボ(仮称)を設立、
本年4月からサービス提供開始

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)は、このたび、マーケティング領域におけるビッグデータ利活用事業の提案力強化を目的として、株式会社博報堂(代表取締役社長:戸田 裕一/以下、博報堂)と協業することで合意しました。

本合意に基づき、2013年4月1日から両社協働プロジェクトである、マーケット・インテリジェンス・ラボ(仮称)を設立し、両社の知見を融合させた顧客向けサービスの提供やソリューションの開発などを進めていきます。

急速な伸長が予測される国内のビッグデータ関連サービス市場において、「マーケティング領域におけるビッグデータ利活用促進」の分野が、市場の拡大を牽引していくと予測^(*)されています。

日立は、IT領域を基軸としたビッグデータ利活用事業を積極的に推進しています。自社が持つ豊富なデータ解析ノウハウやITプラットフォーム技術を駆使して、ビッグデータの利活用を通じた顧客企業の新たなビジネス価値創出に取り組んでいます。今後のビッグデータ利活用に関する事業領域の拡大を見込み、マーケティング領域で実績と知見を持つ博報堂と、ビッグデータ利活用事業において協業していくことで合意しました。

また博報堂は、広告会社という立場から、これまでも顧客企業のビッグデータを活用したマーケティング戦略の立案・実施を支援するとともに、さまざまな関連ソリューションの開発を行うなど、マーケティング領域におけるビッグデータ利活用に積極的に取り組んできました。

今回の協業により、日立のIT力と博報堂のマーケティングコンサルティング力という両社の知見を融合させ、補完しあうことで、顧客企業に対するサービス提案力の向上をめざします。

*1 出典:矢野経済研究所「2012ビッグデータ市場 将来性と参入企業の戦略」

両社が2013年4月から開始する本プロジェクトは、日立のビッグデータ利活用専任組織スマート・ビジネス・イノベーション・ラボ(2012年4月設立)内に設立し、博報堂のビッグデータマーケティング推進チームのメンバーが参画します。

博報堂が現在提供しているコンサルティングサービスやマーケティングに関するノウハウを、日立のビッグデータに関するソリューションと合わせ、日立の顧客企業に向けたサービス提案を共同で行うほか、独自のソリューション開発にも取り組んでいく予定です。

これにより、顧客企業において、ITシステムの情報をマーケティングや経営に活用するニーズが高まっている情報システム部門と、ITシステムの情報を活用することが求められているマーケティング

グや宣伝部門、事業部門などに提案することで、顧客企業がビッグデータ利活用に全社で取り組める環境づくりをサポートしていきます。

なお、本プロジェクトでは、まず顧客企業におけるマーケティングプロセス改革コンサルティング、およびマーケティングデータ管理のためのプラットフォーム構築と関連ソリューションの共同開発から開始します。将来的には、社会インフラの視点でマーケットを捉え、ビジネスでのデータ利活用だけでなく、生活者の暮らしを豊かにするための仕組みづくりも視野に入れて検討していきます。

日立は今後も、本プロジェクトによる成果の提供をはじめ、ビッグデータ利活用事業を積極的に推進し、2015年度にビッグデータ利活用事業全体で売上高 1,500 億円規模をめざします。

博報堂は今後も、マーケティング領域でのビッグデータ利活用分野において、さまざまな企業やパートナーとの協業を推進し、顧客企業のビジネス成果への貢献をめざします。

■ マーケット・インテリジェンス・ラボ(仮称)における取り組み

1. マーケティングプロセス改革コンサルティング

市場、顧客、各種マーケティングデータを統合し、高度なマーケティング解析モデルを活用して、顧客の課題解決におけるプランニング精度の向上をめざします。例えば、顧客企業内のさまざまな業務データやオープンデータを掛け合わせて、マーケティング解析モデルを適用することで、これまで見えなかった事業の状況を把握することができます。リアルタイムに可視化することで、従来のプロセスを高精度化、高速化、さらには自動化することが可能となります。今後1年間で10件の受注をめざします。

2. マーケティングデータ管理プラットフォーム構築と関連ソリューションの共同開発

顧客企業におけるマーケティングデータをはじめとする様々なデータの収集・蓄積と、多くの用途に活用するための加工・分析のIT化によって、マーケティングデータ提供ビジネスを視野に入れたプラットフォームを構築します。これにより、異分野、異業種間のデータの掛け合わせを含めた、マーケティングデータ提供ビジネスの開発を、より容易にします。

■両社協働プロジェクト:マーケット・インテリジェンス・ラボ(仮称)概要

プロジェクト名称 (仮称)	日本語表記:マーケット・インテリジェンス・ラボ 英文表記:Market Intelligence Lab
共同代表	安田 誠 (日立製作所 情報・通信システム社 スマート情報システム統括本部 副統括本部長) 山之口 援 (博報堂 エンゲージメント・ビジネス・ユニット マーケティングプラットフォームビジネス 開発部部長)
構成員	<日立製作所> スマート・ビジネス・イノベーション・ラボに所属するデータアナリスト、システムエンジニアなど <博報堂> エンゲージメント・ビジネス・ユニットに設置されたビッグデータマーケティング推進チームに 所属する、マーケティングコンサルタント、CRM スペシャリスト、インタラクティブプランナーな ど
主な活動内容	ビッグデータを活用した顧客企業への共同提案、ソリューション共同開発 ほか

■日立的ビッグデータ利活用に関する Web サイト

<http://www.hitachi.co.jp/bigdata/>

■博報堂のビッグデータマーケティングに関する Web サイト

<http://consulaction.hakuhodo.co.jp/cl/bigdata/>

■本件についてのお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社

スマート情報システム統括本部 先端ビジネス開発センタ [担当:浅見、三輪]

〒140-8572 東京都品川区南大井六丁目 27 番 18 号 日立大森第二別館

TEL:03-5471-3384(ダイヤルイン)

株式会社博報堂 広報室 [担当:藤井・山野]

〒107-6322 東京都港区赤坂五丁目 3 番 1 号 赤坂 Biz タワー

TEL:03-6441-6161(ダイヤルイン)

■報道機関お問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 広報部 [担当:岡田]

〒140-8572 東京都品川区南大井六丁目 27 番 18 号 日立大森第二別館

TEL:03-5471-8900(ダイヤルイン) E-mail:koho@itg.hitachi.co.jp

株式会社博報堂 広報室 [担当:藤井・山野]

〒107-6322 東京都港区赤坂五丁目 3 番 1 号 赤坂 Biz タワー

TEL:03-6441-6161(ダイヤルイン)

以上